

小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことができない「生きるための力」の一つです。

学校では、この生きる力の基となる基礎学力を高めるために日々努力していますが、家庭と連携することで、さらにその力は何倍にも高められます。つまり、家庭学習の習慣化が子どもの「生きる力」を高めるのです。この家庭学習の手引きを活用し、家庭学習の習慣化を進めていきましょう。

1. 家庭での学習を習慣化しましょう

* 学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起きを心がけましょう。 ○朝食は必ず摂るようにしましょう。
- 毎日、排便をしましょう。 ○テレビやゲームの時間を決めましょう。(2時間以内が理想)
- 自分で時間割や学習用具をそろえましょう。 ○家の手伝いを毎日続けましょう。

* 学習のポイント

- 自分で時間を決めて、毎日学習する。
- 集中できる環境を作る。
 - ・姿勢良く学習できる場所で学習しましょう。・整理整頓をしてから学習を始めましょう。
 - ・学習中テレビを見ないようにしましょう。

* 学習時間のめやす

低学年：30～40分

中学年：40～50分

高学年：50～60分

2. 家庭学習のねらい

低学年：基礎的な内容をくり返し学習し定着させるとともに、家庭学習でも丁寧な文字を書くという習慣を身につけさせる。

中学年：基礎的な内容をくり返し学習し定着させるとともに、自主的な学習も少しずつできるようにさせる。

高学年：基礎的な内容をくり返し学習し定着させるとともに、自主的な学習にも意欲的に取り組むようにさせる。

3. 家庭学習の参考例（各学年共通）

国語

- ・漢字練習・意味調べ・視写。
- ・日記・音読。
- ・漢字テストで間違った漢字を覚える。

算数

- ・計算練習・百ます計算。
- ・テストで間違った問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・総合

- ・勉強したところに関係がある事柄を、本や資料集・ホームページなどで調べてまとめる。

※豊かな学力をつけるためにできることは次のようなこともあります。ぜひ、取り組んでみてください。

- ア 読書をしましょう。(読書は「見えない学力」を高めます)
- イ 国語辞典・漢字辞典・その他の事典や図鑑を身近に置いて調べましょう。
- ウ 日本地図・世界地図を身近に置いて調べましょう。
- エ ニュース番組を親子で見て話し合しましょう。
- オ 百人一首など詩歌の暗唱をしましょう。
- カ 小学生新聞など、新聞を読みましょう。
- キ 頭をはたらかせるゲーム(将棋・囲碁など)をしましょう。
- ク 自然や生き物とふれあい、くわしく観察しましょう。